

公の施設等評価（評価シート）

施設の概要及び利用実績等による実績評価

【実績シート】

施設の基本項目			
施設名称	施設コード	45004	
	今治市営玉川鈍川体育館		
所在地	所在地コード	420022	玉川
	今治市玉川町鈍川丙226番地		
分類	5 レクリエーション・スポーツ施設		
グループ	45 体育館		
本庁担当課 (予算担当課)	担当課コード	656000	
	担 当 部	教育委員会事務局	
	担 当 課	体育振興課	
管理担当課 (5と同じ場合は、 記入不要)	担当課コード	521110	
	担 当 課	玉川支所 地域教育課	
法定施設 公の施設	法定施設	☐ 法定施設 根拠法令名	
		☒ その他	
	公の施設	☒ 公の施設 ☐ その他	
		条例、規則、 要綱名	今治市営体育館条例
非常時等の 利用	災害時利用	☒ 有 利用方法 ☒ 避難場所 ☐ 備蓄倉庫 ☐ その他	
		☐ 無	
		☐ 有 利用方法	
	選挙時利用	☒ 無	
		☐ 有 利用方法	
		☒ 無	
	その他利用	☐ 有 利用方法	
		☒ 無	



事業計画

設置の経緯・目的			条例上の設置目的	地域住民のスポーツに関する自発的な活動に協力しつつ、広く住民があらゆる場所において、自発的にその適正状態に応じてスポーツをすることができるような条件整備の一環として設置するものであり、地域住民の心身の健全な発達と明るく豊かな住民生活の形成に寄与することを目的とする。			
			※条例、規則等の目的 財源を取得するための目的				
補助（起債）事業	補助（起債）事業名			昭和54年公立文教施設整備費補助金事業（昭和54年度義務教育施設整備事業債）			
	補助（起債）の根拠（交付要綱等）			公立文教施設整備費補助金交付要綱			
	経過年数（補助事業の完了届からの年数）			32	年	起債償還完了年度	H10 年
全体事業費 (イニシャルコスト)				千円			
	事業費金額			70,714			
	事業費内訳	建 屋		56,619			
		設備費		5,381			
		造成費		0			
		用地費		6,794			
		その他		1,920			

建物基礎 データ	主体構造	鉄筋コンクリート 造		1 階建
	延べ床面積	465.00 m ²		
	建築面積	465.00 m ²		
	耐用年数	47 年		
	複合施設	☐ 該当 複合する公共施設名 ☒ 非該当		
土地基礎 データ	敷地面積	3,476.00 m ²		
	土地所有状況	☒ 今治市 ☐ それ以外 借地面積 m ²		
耐震診断	耐震診断	☐ 有 ☒ 無		
施設改修	改修等の必要性	☐ 有 （改修等の目的について下記をチェックしてください。） ☐ 耐震化 ☐ ニーズ対応 ☐ 老朽化 ☐ ランニングコスト対策 ☒ 無		
	改修等計画	☐ 有 （改修等計画の目的について下記をチェックしてください。） ☐ 耐震化 ☐ ニーズ対応 ☐ 老朽化 ☐ ランニングコスト対策 ☒ 無		
	改修等実施	☐ 有 （改修等実施した目的について下記をチェックしてください。） ☐ 耐震化 ☐ ニーズ対応 ☐ 老朽化 ☐ ランニングコスト対策 ※改修等実施の詳細（各部屋単位）は、別票（「施設の概要（競合施設リスト含む）」）に記入してください。 ☒ 無		
	バリアフリー	☐ 対応済（施工済） ☐ 一部対応 ☒ 未対応（未施工） バリアフリー化に関する法定義務 ☐ 有 ☒ 無		

施設内容（施設・土地基礎データ等）

管理運営方法	管理運営形態	☒ すべて直営
		☐ 一部業務委託 ☐ 消防設備 ☐ 電気設備 ☐ 空調設備 ☐ 昇降機 ☐ 浄化槽 ☐ 受水槽 ☐ ごみ収集 ☐ 清掃 ☐ その他 ☐ 個別式 ☐ 中央式
		☐ 指定管理
		指定管理者

使用料金体系

条例等の抜粋	条例等名	今治市営体育館条例	第 9 条	第 1 項	別表第3
--------	------	-----------	-------	-------	------

別表第3(第9条関係)

施設名称	施設区分	使用区分	施設使用料	照明施設使用料
玉川国民体育館、玉川 龍岡体育館、玉川鈍川 体育館			2時間までごとに 130円	2時間までごとに 500円

備考

- 1 富利を目的として使用する場合又は入場料を徴収する場合は、所定の使用料の5倍とする。
- 2 「入場料を徴収する場合」とは、入場料、観覧料、寄附、優待券、資金募集その他名目のいかんを問わず入場について直接又は間接に金銭を徴収する場合をいう。
- 3 中学生以下の区分のない場合の中学生以下の者については、所定の使用料の半額とする。ただし、照明施設及び会議室を除く。
- 4 65歳以上の者については、中学生以下の者の使用料を適用する。
- 5 使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てる。

(物品販売の許可)

第12条 体育館内において物品の販売をしようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。ただし、次に掲げる物品は、販売してはならない。

- (1) 酒類
- (2) 他人に危害を及ぼすおそれのある物品
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認める物品

2 前項の許可を受けた者(次条において「物品販売者」という。)は、総収入の5パーセント相当額を納付しなければならない。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

3 第4条第2項及び第5条の規定は、第1項の許可をする場合に準用する。

使用料金以外の費用(実費等の徴収基準)

<以下、別表等 資料抜粋>

なし

施設の概要（競合施設リスト含む）																
建物単位（施設単位）		玉川鈍川体育館														
部屋単位 （機能単位）	建設 年月日	施設利用時間		定員 （人）	延べ床 面積 （㎡）	構造	特殊設備	主な用途	使用料 有・無	その他 特記事項	改修等実施状況		競合施設リスト			
		開館 ～ 閉館	開館 時間数								有・無	実施 年月日	市有施設 （施設名称）	市有以外施設		
														施設名称	施設住所	
体育館	1980/03/31	9:00	～ 22:00	13:00	80	382.00	鉄筋コンク リート	なし	バレー、バスケット、 バトミントン	有	なし	無		市営中央体育館	なし	なし
														市営玉川国民体育館		
														市営玉川龍岡体育館		
														市営大西体育館		
														市営菊間コミュニ ティホール		
														市営玉川総合公園運 動場多目的体育館		
														市営波方公園運動場 体育館		
														菊間緑の広場総合体 育館		
														朝倉B＆G海洋セン ター		

施設の利用状況の推移（年度実績）

項目名	単位	当初目標 (事業計画時)	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	建物単位（施設単位）における 利用総数（年間実績）									
	利用回数（件数）	回（件）		130		153		134		116
	延べ利用人数	人		2,466		1,861		2,799		1,184
	実利用人数	人								
実績等推移			平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
指標等	項目名		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
※1 達成率 %	利用回数（件数）									
	延べ利用人数									
	実利用人数									
※2 変動率 %	利用回数（件数）				118		88		87	
	延べ利用人数				75		150		42	
	実利用人数									
※3 利用状況等の 増減理由	利用回数（件数）				レクバレーの定期的な回数が2回程度増加したため		レクバレーの定期的な回数が2回程度減少したため		バトミントンの定期的な回数が1回程度減少したため	
	延べ利用人数				少年野球の団体の利用が減少したため		少年野球の団体の利用が増加したため		フットサルを禁止したため同団体の使用がなくなったため	
	実利用人数									

※1 達成率は、「施設設置時の当初目標」に対する「各年度の実績」についての達成率を算出しています。

ただし、当初目標が0の場合は達成率の計算ができないため、「-」を表示しています。

※2 変動率は、「当該年度実績」を「前年実績」と比較して算出しています。

ただし、前年実績が0の場合は変動率の計算ができないため、「-」を表示しています。

※3 利用状況等の増減理由は、変動率が「10%以上の増減」のある場合の理由を記入しています。

評価指標の設定

評価指標名 ※4	単位	説明（計算式）
利用件数	件	利用状況が最も端的にわかるため
利用人数	人	施設を実際に利用している人数を把握することができるため。

※4 評価指標は、施設の設置目的に基づく目標と成果について達成度を最も良く現すものを数値化しているものです。

なお、施設グループ共通の指標となりますが、施設の性質等により複数ある場合は、すべて記入しています。

資源投入量

項目名		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績
配置人員（施設開館時間割戻人数） ※1		人	0.000	0.000	0.000	0.000
	正規職員	人	0.000	0.000	0.000	0.000
	臨時・嘱託・アルバイト・パート	人	0.000	0.000	0.000	0.000
	その他（シルバー・派遣職員等）	人	0.000	0.000	0.000	0.000
	うち専門職員	人	0.000	0.000	0.000	0.000
	正規職員	人	0.000	0.000	0.000	0.000
	臨時・嘱託・アルバイト・パート	人	0.000	0.000	0.000	0.000
	その他（シルバー・派遣職員等）	人	0.000	0.000	0.000	0.000
歳入（総額）		千円	201	213	198	143
	国費	千円	0	0	0	0
	県費	千円	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0
	使用料	千円	201	213	198	143
	その他	千円	0	0	0	0
歳出（総額）		千円	467	645	419	927
	指定管理費	千円	0	0	0	0
	指定管理費以外で市が負担する費用	千円	467	645	419	927
	人件費	千円	0	0	0	0
	給料等 ※2	千円	0	0	0	0
	賃金等 ※3	千円	0	0	0	0
	その他人件費 ※4	千円	0	0	0	0
	施設維持管理費	千円	467	645	419	927
	施設維持管理委託料 ※5	千円	0	0	68	0
	光熱水費	千円	313	340	351	342
	備品・維持修繕料	千円	75	226	0	398
	工事請負費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	79	79	0	187
	施設維持管理費 以外	千円	0	0	0	0
	① -	千円	0	0	0	0
	② -	千円	0	0	0	0
行政コスト ※6（歳出－歳入）		千円	266	432	221	784
単位当たりコスト ※7（歳出／単位）						
1単位当たりコスト 単位	利用回数	円	3,592	4,216	3,127	7,991
1人当たりコスト 単位	延べ利用人数	円	189	347	150	783

金額については、表示単位未満を端数処理しているため、決算統計及び決算書等の数値と一致しない場合があります。

※1 配置人員…施設に従事する人員数を、雇用形態ごとに施設開館時間で割戻した人数（23年度以降）
（勤務時間数を踏まえた施設開館時間の違いを調整した上で施設間を比較できるように、施設開館時間割戻人数を表示するもの）

※2 給料等…正規職員関係（給料、職員手当等、共済費）

※3 賃金等…臨時・嘱託・アルバイト・パート関係（報酬、賃金、共済費）

※4 その他人件費…シルバー人材センター、派遣職員等にかかる経費

※5 施設維持管理委託料…委託料のうち、指定管理費を除いた、施設を維持管理するために必要な経費

※6 行政コスト…施設運営管理費収支不足額（歳出総額－歳入総額）

※7 単位当たりコスト…単位を記入（1単位当たりコスト（施設コスト）は開館日数或使用回数等、1人当たりコストは延べ利用人数等）

満足度調査及び情報提供状況

満足度調査	調査実績	☐ 有 ☒ 無	以降
	調査対象	☐ 利用者全員 ☐ 利用者の一部 ☐ その他	
	調査方法	☐ 施設備付（投書BOX） ☐ 受付時配布 ☐ DM（利用者） ☐ その他	
	調査結果の共有方法等	※利用者への結果周知（報告）方法（複数回答可） ☐ 施設掲示板 ☐ DM（利用者） ☐ ホームページ ☐ その他 （具体的に記入してください。）	
		※共有範囲（本庁・支所・その他施設管理運営上関係する部署等） （具体的に記入してください。）	
		※共有方法（メール、文書等） ☐ メール ☐ 文書報告 ☐ その他 （具体的に記入してください。）	
情報提供	情報提供実績	☐ 有 ☒ 無	以降
	対象者	※利用促進を図るための情報提供の対象者 （具体的に記入してください。）	
	提供方法	※情報提供方法（DM等） （具体的に記入してください。）	
	提供時期	※情報提供の頻度やタイミング等 （具体的に記入してください。）	

特記事項

記入欄に不備がある（データが記入されていないなど）項目ごとにその理由を説明しています。

施設の利用状況

空欄については、データを把握していない。

実利用人数は、把握していない。

施設利用者の把握

実利用人数は、把握していない。

施設の利用状況の推移（年度実績）

当初目標（事業計画時）及び年度目標は設定していない。実利用人数は、把握していない。